



ケアと私の人生 —ヤングケアラー・若者ケアラー・ダブルケアラーの体験談から考える

少子高齢化の中で、子どもや若者が家族の介護を担うヤングケアラー・若者ケアラー、子育てと介護を同時に担うダブルケアラーなど、若い世代が介護を担うケースが増えています。若い世代がケアを担う中で、どのような問題に直面し、教育、仕事、将来を考えてきたのか、当事者の経験談から身近な問題として考えてみましょう。

配信期間

10月30日（金）～11月30日（月）

講師

澤田 景子

名古屋学院大学現代社会学部講師。高齢者福祉、地域福祉、医療分野でのソーシャルワーカーとしての経験をいかし、ダブルケアなどの将来世代に迫るケア課題に対し、コミュニティのチカラを高める地域づくりについて研究をしています。

河西 優

立命館大学大学院生。小学校高学年の頃より約10年間、「統合失調症」の母親のケアを担う。

朝田 健太

男性介護者を支援する会 TOMO。22歳から約10年間、認知症の祖父の介護に関与。自らの経験を活かし、現在はヤングケアラーの啓発を行う。

杉山 仁美

ダブルケアラー、ダブルケアパートナー。ダブルケア歴は7年目。2018年11月支援団体を立上げ、ダブルケアカフェやケア活講座を中心とした活動を行う。

受講料

1,000円